



SENSHOJI
2022 YUKARI NEWSLETTER
since 1994

ゆかり通信
VOL. 294
令和4年7月

北海道千歳市清水町1-14 鶴竇山 千正寺
TEL:0123-23-2442 FAX:0123-24-9883
ホームページ <http://sensho-ji.net/> フェイスブック @Senshoji

2022年千正寺カレンダー 7月の言葉



可愛い体がキラリと光る/キビタキ

心
の中
に
降
る
雨
に、
人
の
情
け
が
傘
を
さ
さ
す。

「情けは人のためならず」という言葉があります。この言葉は、旧五千円札にも描かれた新渡戸 稲造の言葉だそうです。「施せし情は人の為ならず、おのがこころの慰めと知れ。我れ人にかけてし恵は忘れても、ひとの恩をば長く忘るな」が原文だそうです。つまり「情けは、人のためにはならない」ではなく、「情けは人のためではなく、自分自身のためになるんだよ」という意味だったんですね。

誰もが人生の中で大変な目に遭い、どうにもこうにもならない事態に陥り、まるで雨の様に涙を流す事があります。そんな時…、まるで傘でもさしかけるように、人様が情けをかけて下さる事があります。それはとても有難く、どれほど勇気づけられることでしょう。また、悲しみや怒りで心の中がいっぱいになり、はち切れそうになる時があります。

そんな時…。黙って愚痴を聞いて、やるせない思いに心底共感してくれる人が居てくれたなら…。嘆きも愚痴も全て吐き出してしまったら、心が軽～くなっていた、そんな経験をお持ちではないでしょうか。私の愚痴を聞いて下さる方は、私にとって「菩薩さま」なんです。

金子みすゞさんの「さびしいとき」という詩があります。

「私がさびしいときに、よその人は知らないの、お友だちは笑うの、

お母さんはやさしいの、仏さまはさびしいの」

よその人は、わたしの寂しさなんて知らないし、友達も分かってはくれません。そんな時、お母さんは、私の気持ちを察して、やさしく接してくれます。そして、仏さまは、そんな私の寂しさを心底理解して、常に一緒下さいます。「がんばれ、がんばれ！」と励まされるより、心に寄り添うように「さびしいね」と一緒下さることで、どれほど心は和らぐことでしょう。私の心の中の、悲しさも寂しさも全て受け止めて、共に悲しみ、共に寂しがって下さる方は、まぎれもなく「仏さま」ですね。

22年前、大阪からこの北海道に来て、私はどうしてもならない状況に陥っていました。そんな時、力になって下さったのが現在の所属寺である、むかわ町のお寺の前住職様でした。幾度となくむかわ町へ通っては、相談に乗って頂き、たくさん愚痴も聞いて頂きました。悲しみや怒りで、心がはち切れそうになる度にむかわ町へ通いながら、約一年を過ごしました。結局、私は行き場を失い、今更大阪に戻ることも出来ず、夫婦で路頭に迷う状況でした。

しかしそんな時、千正寺様のご厚情でお仲間に加えて頂き、寺内の皆様やご門徒様の温かい温もりとお慈悲の中で、毎日のお参りをさせて頂くご縁を賜りました。夏は草刈り、冬は雪かき…、そして季節ごとのご法要やお勤めの中で過ごす毎日…。気付けば、あっという間に22年間が過ぎておりました。

今では北海道が第二の故郷となり、千正寺様の大～きな情けの傘の下で、今日もこうしてお参りさせて頂いております。尊い事です。南無阿弥陀仏 南無阿弥陀仏…

(文：桜庭尚吾法務員)